

【特別書面インタビュー】大槌ゆかりの方に伺う『今後の10年へ向けてコロナ禍を乗り越えるために』



芸能事務所社長
佐藤 ひろ美さん

生まれ育った大槌のため、私がアニメでできることを。

<佐藤ひろ美さん 略歴>

大槌町出身。三陸♥おおつちPR大使。2000年、ソロシンガーとしてメジャーデビュー。主にPCゲームやアニメ主題歌を歌うアニソンシンガーとして業界を牽引。2007年に自らが代表を務める「株式会社S」を設立し、Faylanや蒼井翔太をはじめとするトップアーティストを世に排出してきた。2016年、社長業に専念するため、多くのファン・業界人に惜しまれながらアーティスト活動を引退。現在は社長業をはじめ、東日本大震災にて被災した自身の出身地である岩手県上閉伊郡大槌町の復興支援活動にも尽力している。

国内で新型コロナウイルスの感染が広がりはじめて1年が過ぎます。この1年はどんな日々でしたか？

アニメ業界はアフレコがストップしイベントやライブも軒並み中止や延期になりました。1回目の緊急事態宣言期間終了後からアフレコはスタジオ収録の声優人数を減らして収録が再開しましたが、イベントやライブは未だに開催は少なく、無観客オンライン開催に形態が変わりました。弊社も昨年3月よりテレワークを導入し、1年が経とうとしております。この1年で仕事の仕方が一気に変わり、時代や価値観の変換期の中にいるのだなと実感する日々でした。

こうしたときに大事にしていること、大事だと思っていることは何ですか？

会社も仕事現場も極力対面で人と会うことが少なくなっているのが、コミュニケーションを頻繁に取ることを心がけています。オンラインミーティングが使いやすい事を知ってからは地方の方と頻繁にミーティングを重ねる事が出来てこれは収穫でした。また仕事のやり取りはメールが多いですが敢えて電話で会話をするなどしています。心を通わせるための努力や技術が必要だなと思っています。そして一番大切なのはコロナに感染しない事。コロナの正しい知識を得る事。密を避け、手洗い、うがい、消毒。規則正しい生活を心がけています。

コロナ禍でのエンターテインメント、観光、文化芸術のあり方とは？

震災の時もそうですが、世界が非常事態になると、一瞬エンタメや観光、文化芸術の分野はストップしますが、時期が来れば、人を癒し元気づけ、時に心に寄り添い、心のお薬の役目を果たすものだと思いますし、世間の空気を感を作るものでもあると思っています。その瞬間に求められているもの、またその先を読み、提供出来たらと常に考えています。

大槌町との思い出や関係のきっかけを教えてください。

高校まで大槌町にいました。親戚が小鎚にいたので、小さい頃はお休みになると親戚の小鎚の家に泊まり小鎚川で泳いだり、家の裏の山を恐る恐るちよっとだけ探検したり(森のようになっていたので暗くて怖い)楽しい思い出があります。海も大好きで子供の頃から浪板海岸が好きで、小学生の頃、ずっと泳いで潜っているのが母親から溺れているのかと捜索願いが出されたこともあります。

大槌町ではふるさと納税や、通信販売サイト「大槌孫八郎商店」で、町特産品のPRに努めていますが、大槌の特産品と言えは？

毎年、夏になると魚屋さんやスーパーの海産物売り場に「牛乳ビン詰のウニ」が店頭に並びますが、それが三陸特有の販売方法だと知ったのはだいぶ大人になってからでした。冬になると食卓には「はらんこ」がいつもありご飯にかけ放題でした。それを「毎日 はらんこは飽きた」などと悪態をついていましたが高級食材だと知ったのはやはりだいたい大人になってからでした。新鮮で最高に美味しい食材をすぐ食べ倒れの町！」だと思えます。

今後、三陸♥おおつちPR大使として大槌町で、あるいは大槌町民と一緒に挑戦してみたいことは？

大槌町民の皆様の中で、アニメ業界や声優業界に興味がある方がいるのであれば、講習会や出張声優レッスンのようなワークショップをしたら楽しそうですね。三陸コネクティブフェスティバルというイベントを企画開催しているのですが、この取り組みは引き続き続けていきたいです。また大槌町は伝統芸能や音楽が盛んな地域なので、日々の成果を発表するイベントの数が多いと思います。別々に行くこともいいとは思いますが、仲良く一緒に文化芸術やサブカルチャーの文化祭のようなものをやってみるのもいいのではないかなと思います。

本年の活動予定を教えてください。

大槌町が制作する大槌駅イメージキャラクター「大槌カイ」の短編アニメ制作のお手伝いをしております。出来上がりが楽しみです。制作進行頑張ります。

大槌町民へメッセージをお願いします。

大槌町の皆様お元気でしょうか、佐藤ひろ美です。新型コロナウィルスの収束までまだまだ時間がかかりそうですが、震災を乗り越え10年が経ちましたが、まだ困難が待ち受けているのか心が折れそうになりますが、私は生まれ育った故郷の為に私が出ること、を一杯やり、町の皆様と一緒にこの困難を乗り越えていきたいと思えます。共にがんばりましょう！